

外国人困窮者支援のいま

一北関東医療相談会月間レポート：2022年12月版一

■支援日誌

□12月7日「アフシンさん」

皆様へ先月ご紹介しました。アフシンさんの件ですが経過報告をいたします。

まず、お金については11月初旬から取り組み始めた、「イラン難民アフシンさんのハート（心臓手術）を支える会」の活動ですが、11月30日時点で、231名の個人・団体様から計3,783,300円のご寄付を頂きました。緊急の呼びかけにもかかわらず、短期間で多くの方々から心を込めたご寄付を頂き、深く感謝致します。お陰様で、来年1月に手術を受ける手続きを、現在進めているところです。

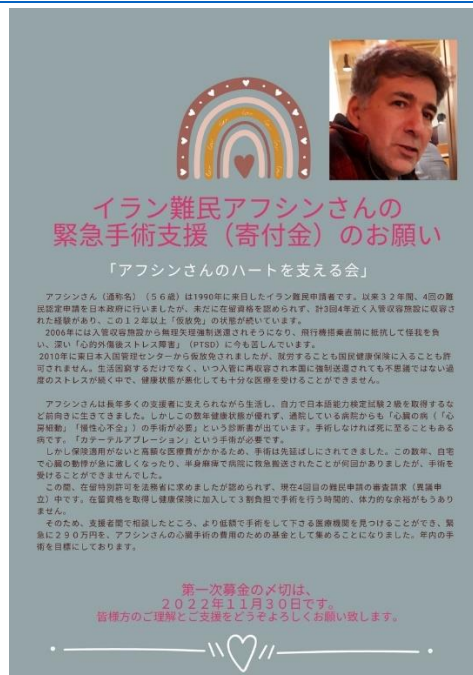
アフシンさん本人から皆様に以下の感謝のコメントがあります。

「なかなか言葉にするには難しいけれど、一人ひとりの皆さんの大切なお金を、私の手術のためにカンパしていただいたことに、心からの感謝を申し上げます。これからも希望を失わずに生きていきたいと思います。本当にありがとうございました。」

すでに手術の目標金額の290万円に達することができましたが、アフシンさんの手術が予定されている来年1月末まで、第二次募集を引き続き行います。

今後もアフシンさんと同様に手術等で苦しんでいる仮放免者に支援が広げられるように皆様の支援の輪が広がりますように。

[「イラン難民アフシンさんのハート（心臓手術）を支える会」からのご報告](#)



**イラン難民アフシンさんの
緊急手術支援（寄付金）のお願い**

「アフシンさんのハートを支える会」

アフシンさん（通称名）（56歳）は1990年に来日したイラン難民申請者です。以来32年間、4回の難民認定申請を日本政府に行いましたが、全てに在留資格を認められず、計3回4年近く入管収容施設に収容された経歴があり、この12年以上「仮放免」の状態で過ごしています。

2006年には入管収容施設から無理矢理強制送還されそうになり、飛行機搭乗直前に拒抗して怪我を負い、深い「心的外傷性ストレス障害」（PTSD）に今も苦しんでいます。

2010年に東京外国人相談センターから仮放免されましたが、就労することも困難で健康保険に入ることも許されません。生活に窮するだけでなく、いつ入管に再収容され本國に強制送還されても不思議ではない程度のストレスが続く中で、健康状態が悪化しても十分な医療を受けることができません。

アフシンさんは長年多くの支援者に支えられながら生活し、自力で日本生活能力認定試験2級を取得するなど前向きに生きてきました。しかしこの数年健康状態が悪化し、通院している病院からも「心臓の病（「心筋梗塞」「慢性心不全」）の手術が必要」という診断書が出ています。手術しなければ死に至ることもある病です。「カテーテルアブレーション」という手術が必要ですが、手術は保証はしにされてきました。この数年、自宅で心臓の動悸が急に激しくなったり、半身麻痺で病院に救急搬送されたことが何回ありましたが、手術を受けることができませんでした。

この際、在留特別許可を申請者に求めましたが認められず、現在4回目の難民申請の審査請求（異議申立）中です。在留資格を取得し健康保険に加入して3割負担で手術を行う期間的、体力的な余裕がもうありません。

そのため、支援者間で相談したところ、より迅速で手術をして下さる医療機関を見つけることができ、緊急に290万円を、アフシンさんの心臓手術の費用のための基金として集めることになりました。年内の手術を目標としております。

第一次募金のメッチは、**2022年11月30日**です。
皆様方のご理解とご支援をどうぞよろしくお願い致します。

□12月7日「入管でなにが起きているブラックボックスの実態」

皆様へ

本日放送のクローズアップ現代に当会と私を取り上げられていましたのでお伝えします。忙しすぎてお伝えするのを忘れていました。12月7日午後7時30分「入管でなにが起きているブラックボックスの実態」後はNHK+でご覧ください。

尚、今月は水戸放送局取材の仮放免者の健康についても少し関わりました。放送時間が確認できしだいお知らせします。

[「入管」でなにが“ブラックボックス”の実態](#)



□12月8日「講演会」

皆様へ

12月10日(土)10時から津島市で講演会を行います。私のFBで知り合った真野さんの招聘でお話をさせていただきます。真野さんとも分かち合い連絡を取り合い互いに協力できると思います。

ウイッシュマンさんの問題を取り上げてくださった最初の方だと記憶しています。愛西市のお寺でも少し分かち合う時間があるとのこと。お祈りください。

今年一番の神のはからいではないかと思います。ウイッシュマンさんの墓前に伺う事が出来るのは何という事だと思います。仮放免者ために祈りを捧げてきます。

外国人の人権と私たちの人権を考える!

★とき：12月10日（土）
午前10時～12時
★講演と報告会
★ところ：津島市南文化
センター3階
★参加費：無料



☆講師の紹介

長澤正隆 さん

（北関東医療相談会
事務局長 牧師）

※長年、入管に収容さ
れている外国籍の方の医
療相談、地域の医療相談
などの活動をされていま
す。



昨年3月に、名古屋入管に収容されて
たスリランカ人女性が死亡した事件は、
いまだに、その全貌が明らかになって
いません。

あるテレビ番組で「yuoーは何しに…？」
では、日本の食文化や日本の伝統文化
に憧れて、日本を愛して、来日するの
に…実際に日本の政策は、「外国人に
非礼な法律があるのが、信じがたい」
という実態。

☆報告者

真野明美 さん

*12月4日～12月10日は
「人権週間」です。

※感染症予防のため、人数制限をい
ます。
検温、消毒、マスク着用にご協力下さい。



一緒に、
人権を考えてみませんか？

●愛知地域人権連合会・津島支部

連絡先：津島市大政町1-1-1 大政住宅24号 小山 電話：0567-28-5314

□12月16日「仮放免者の子供」

仮放免者の子供は仮放免者
産まれてきた時から仮放免者
住所がないから小学校は知らない
仮放免者の子供は仮放免者
産まれてきた時から仮放免者
幼稚園に行けない。
仮放免者の子供は仮放免者
塾にも行けない仮放免者
仮放免者のこども仮放免者
歯が痛くても病院にいけない
かわいそうな仮放免者
こんな仮放免者に誰がした。
仮放免者の子供は仮放免者

産まれてきた時から仮放免者
住所がないから小学校は知らない
野球もできない
仮放免者の子供は仮放免者
いくつになっても仮放免者
高校にはいっても仮放免者
大学に入ってもはたけなない仮放免者
仮放免者の子供は仮放免者
産まれてきた時から仮放免者
住所がないから小学校は知らない
いくつになっても働けない仮放免者
いくつ朝がきても
いくつ夜がきても
働けない仮放免者
仮放免者は結婚しても働けない
仮放免者はいくつ寝ても
年金はこない
仮放免者の子供は仮放免者
死んだら天国で働けるかも
俺の親父は仮放免者
俺の母さんも仮放免者
爺さんも仮放免者
いくつなっても仮放免者
100歳になっても仮放免者
でも
誰も知らない。
仮放免者の子供は仮放免者

□12月19日「NHK『いば6』」

皆様へ

今晚茨城県の方必見です。仮放免者の厳しい現実が放映されます。茨城県地方の方へ拡散願います。仮放免者の子供の病気について放映されます。治療費のご支援を願います。

[牛久入管「仮放免者」が直面する厳しい現実](#)



2022年12月19日

初回放送日: 2022年12月19日

▽牛久入管「仮放免者」が直面する厳しい現実 ▽だるまさんが転んだ ギネス記録達成なるか ▽NHKプラス配信中 放送後1週間視聴可能

□12月22日「相談会」

皆様へ

お願いします。

群馬県の外国人の方へお誘いください。

コロナ禍生活相談&フードバンク in 高崎

日時 12月27日(火) 14時~16時
場所 高崎市中央公民館 集会ホール

物価高騰や不況、コロナ禍の影響等により、生活困窮や収入減少、解雇、家賃滞納、事業減収、借金の増大、税滞納、財産差押え、親亡き後問題、離婚、養育費の請求やDV被害、障害年金、健康不安などでお悩みの方、弁護士ら法律家や支援者が無料相談や手続きの支援をおこないます。また 生活保護等の制度説明や相談、申請支援も無料でおこなっています。

コロナ禍生活相談&フードバンク in 高崎

日時 12月27日(火) 14時~16時
場所 高崎市中央公民館 集会ホール
住所 高崎市末広町27番地

※ フードバンクのみの利用も歓迎しています。気軽にご参加ください。参加無料。お米、乾麺、レトルト、小麦 野菜等、無くなり次第終了です。

主催 反貧困ネットワークぐんま
共催 北関東医療相談会AMIGOS

協力団体 法テラス群馬法律事務所、消費者支援 群馬ひまわりの会、一般社団法人 群馬保健企画
高崎生活と健康を守る会、群馬県民主医療機関連合会、群馬県社会保険推進協議会
食品協力 フードバンク北関東、群馬中央医療生協大泉千代田支部、みまつ食品

後援 高崎市 群馬弁護士会 群馬司法書士会

お問い合わせ 027-234-8505 コロナ禍生活相談&フードバンク事務局 町田茂 (群馬県医師)

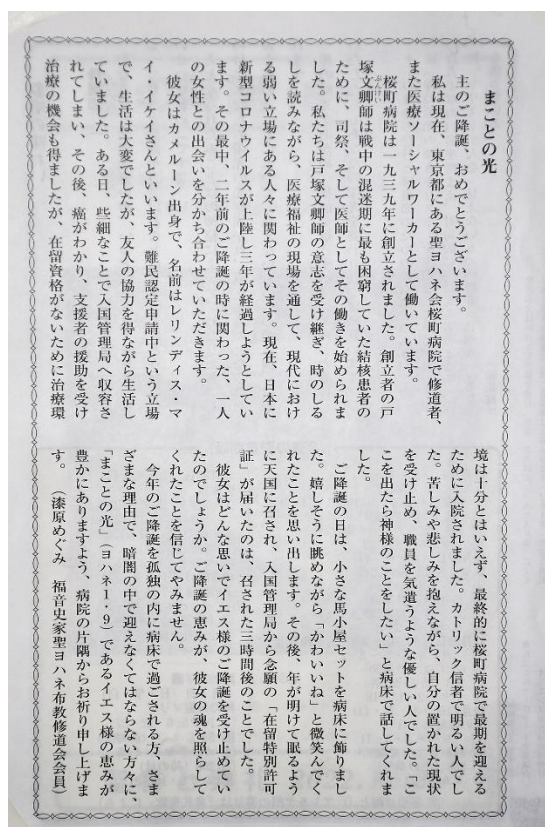
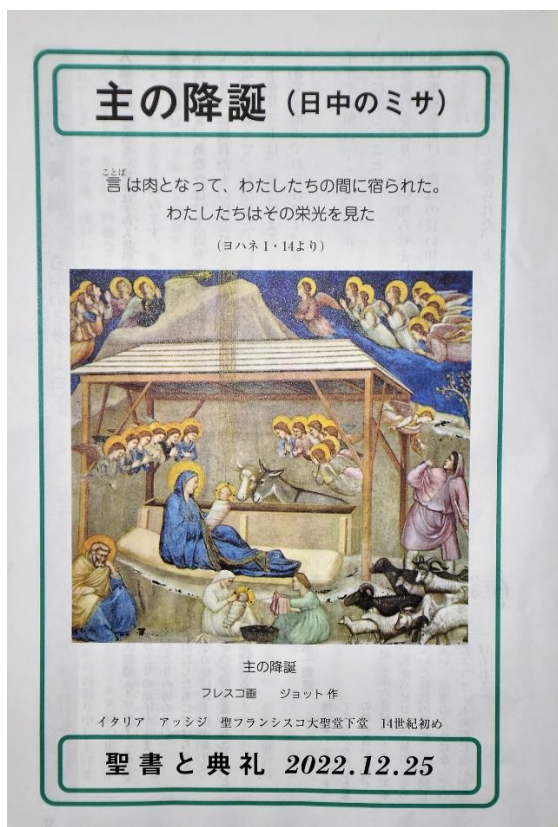
□12月28日「レリンドス・マイ・イケさん」

皆様へ

12月25日のカトリック教会は日中のミサで主イエスのご降誕をお祝いをしました。私たちアミーゴスの仲間の桜町病院のSr 漆原さんは主のご降誕のお祝いと天に召されたレリンドス・マイ・イケさんの在留特別許可の取得に関する事をシェアしています。一読いただけると嬉しく思います。

彼女は帰天の時にも優しく事を受け入れていたようです。神は私たちに共にいて彼女を天に導き、私たちに在留特別許可の必要性を教えているかもしれません。

私たちは、彼女のことを言として受け入れ肉とし、
マイが私たちと共に生き、
仮放免者の苦しみを言として私たちが受け入れ肉となります。
そして私たちは祈りたいと思います。
そのことによって
私たちは天から真の支援する者となります。
それは「インマヌエル」神が共にいてくださる事を知り
皆に伝えることを知るのです。



注)「支援日誌」は長澤正隆 Facebook を基に修正加筆を行った。

■支援状況

□個別支援（アウトリーチ支援）

- ・アミーゴスのメンバーで個別支援。
相談支援や医療支援、入管関係支援などを行う。

□食料・生活必需品等の配布

- ・食料（米、おかず、野菜、調味料など）や生活用品（オムツなど） 98件
- ・衛生用品（マスク、石鹸、アルコール消毒液）※偶数月に2か月分送付 253件

□住居支援

- ①群馬県高崎市に「めぐみアパート」3部屋借り上げ。
仮放免のフィリピン人2人、イラン人1人が入居中。
- ②埼玉県杉戸町に「すぎとの家」1軒借り上げ。
現在、空室。

編集：大澤優真